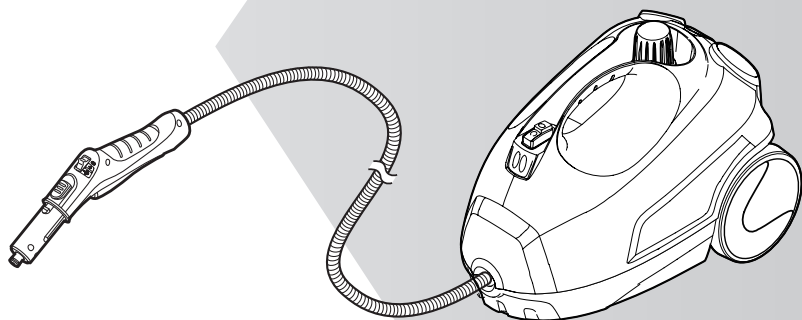


KÄRCHER

ケルヒャー家庭用スチームクリーナー

SC 2 EasyFix W

取扱説明書



この度は、ケルヒャー家庭用スチームクリーナーをお買い上げいただき誠にありがとうございます。ご使用前に取扱説明書をよくお読みいただき、正しく安全にご使用ください。お読みになられた後は、本書をすぐに取り出せる場所に保管してください。

※仕様・外観は、開発・改良により予告なく変更する場合があります。

※この製品は家庭用です。業務用としての使用は想定しておりません。



SC 2 EasyFix W
2023.09
5.951-249.0

仕様一覧

SC 2 EasyFix W 仕様一覧	
品番	1.512-611.0
電源	100 V
消費電力	1500 W
スチーム吐出圧力	0.32 MPa (※ 1)
安全弁作動圧	0.6 MPa ± 0.05 MPa (※ 1)
ボイラー加熱温度	約 143 °C
ボイラータンク容量	1.0 L
ヒートアップタイム	約 6 分 (※ 2)
寸法	380 × 254 × 260 mm
質量	2.9 Kg
電源コード長さ	4 m
防水性能	IPX4
<使用の目安>	
清掃面積	75 m ² (※ 3)
スチーム連続噴射時間	約 30 分 (※ 4)
定格使用時間 ※ 5	1 時間
<交換時間>	
安全バルブ用 O リング	約 200 時間

※ 1 1MPa=10.2kgf/cm²

※ 2 水温 20°Cの場合

※ 3 一般的な住宅の汚れに対し、1回の給水で清掃できる面積の目安

※ 4 1回 1.0Lの給水で連続噴射できる時間

※ 5 電源スイッチが ON になっているときの合計時間

目次

■ はじめに

はじめにお読みください.....	4
梱包内容の確認.....	4
各部の名称と機能.....	5
ご使用前の注意事項.....	6
はじめてお使いになる前に.....	10
スチームクリーナーとは？.....	10
スチームクリーナーの基本的なしくみ... ..	10

■ 準備

初回の準備.....	11
本体を組み立てる.....	11
ボイラーに水を入れる.....	12
電源を入れる.....	14
ヒートアップを行う.....	15

■ 使い方

清掃を開始する.....	16
アクセサリーを取り付ける.....	17
各種アクセサリーの取り付け方.....	17
ノズルヘッドとブラシの準備.....	18
ハンドブラシとマイクロファイバー カバーの準備.....	18
フロアノズルの準備.....	19
エリアごとの掃除方法.....	20
清掃を中断、終了する.....	24

■ ボイラーのお手入れ

ボイラーのお手入れ.....	26
水ですすぐ (お手入れ目安：使用 10 回ごと).....	26
ボイラー洗浄剤を使用して洗浄する (お手入れ目安：使用 50 回ごと).....	27

■ 点検と保管

点検と保管.....	28
使用前点検.....	28
定期点検.....	29
保管.....	29

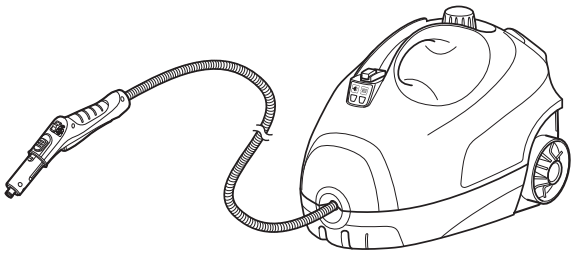



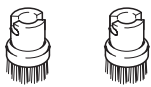
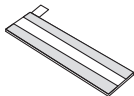




■ その他

困ったときは.....	30
オプションアクセサリー一覧.....	32
補修部品.....	33
保証書.....	34
製品に関するお問い合わせ.....	36

はじめにお読みください

梱包内容の確認

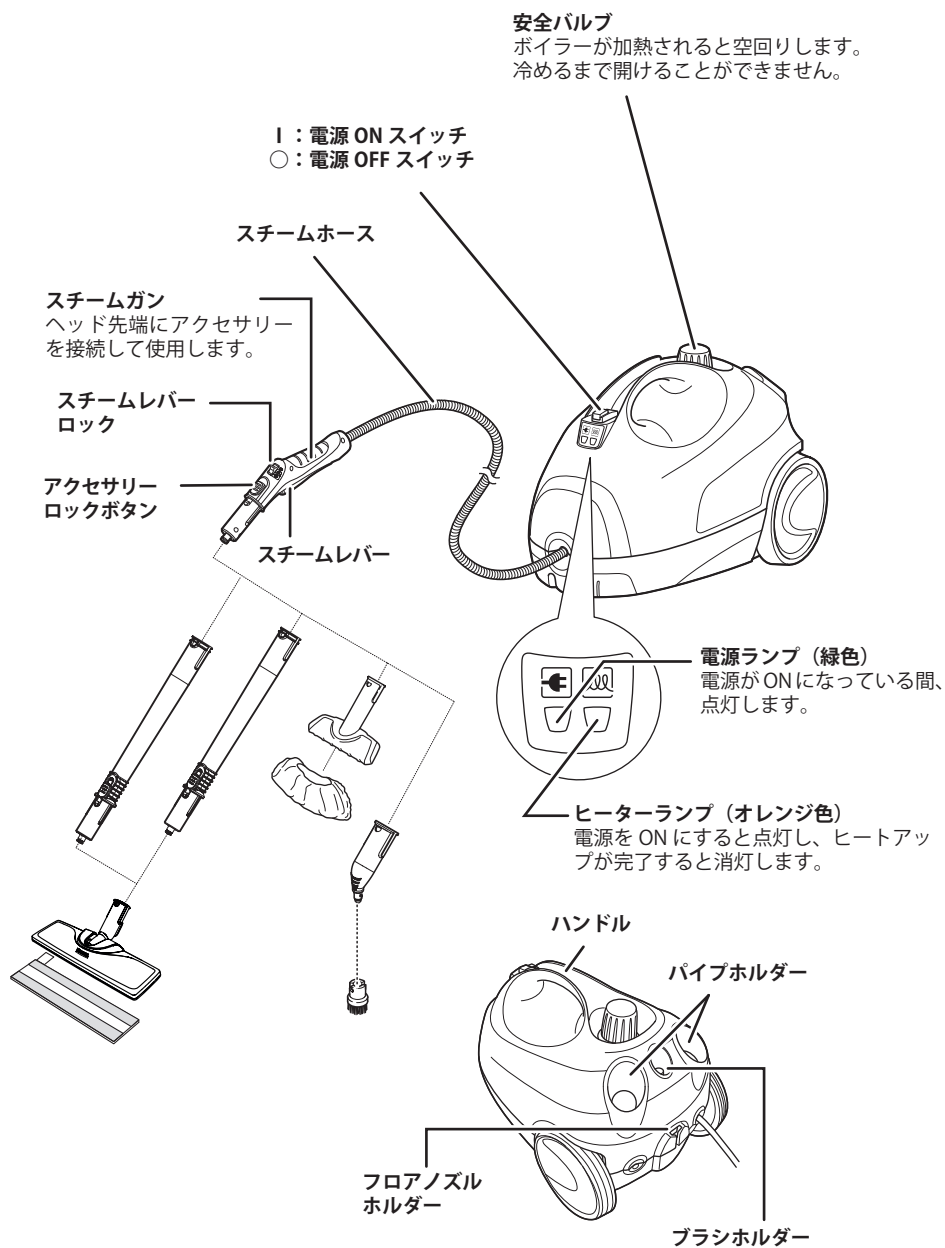
本機をご使用いただく前に、全ての付属品が揃っていることをご確認ください。
仕様変更・セット品の変更により、製品の形状と図・名称が一致しない場合があります。

<p>1</p>  <p>本体</p>		<p>2</p>  <p>キャスター 1個 ホイール 2個</p>
<p>4</p>  <p>ハンドブラシ</p>	<p>5</p>  <p>ノズルヘッド</p>	<p>3</p>  <p>イージーフィックス フロアノズル</p> <p>6</p>  <p>ブラシ黒 1個 ブラシ黄 1個</p>
<p>7</p>  <p>イージーフィックスフロアノズル用 マイクロファイバークロス 1枚</p>	<p>8</p>  <p>ハンドブラシ用マイクロ ファイバーカバー 1枚</p>	<p>9</p>  <p>パイプ 2本</p>
<p>10</p>  <p>ボイラー洗浄剤 パウダータイプ 3包入り</p>	<p>11</p>  <p>取扱説明書 1部 (本冊子)</p>	

MEMO

- この製品はテスト後に出荷されているため、水分が多少残っている場合がありますが製品の性能に問題はありません。
- ノズルヘッドとブラシは、マイクロファイバーカバーの内側に入れて出荷する場合があります。

各部の名称と機能



ご使用前の注意事項

使用目的について

- ・本製品は除菌を主目的とした製品です。また高温のスチームを噴射して汚れを落とすこともできます。これら以外の目的で使用しないでください。
- ・本製品は一般家庭用です。業務・事業・店舗用、商用、営利目的等の一般家庭用以外の目的で使用する場合、原則として保証の対象外となります。
- ・本書に記載されていない使用方法によって生じた損害について当社は責任を負いません。



使用対象者について

安全に対する責任能力を有する者による監督、指導がない場合、製品の安全に対する責任能力・身体的能力・感覚能力・精神的能力を有していない方または知識・経験を持たない方（子供を含む）には使わせないでください。子供が使う場合は遊ばないように監督されていることを確認してください。

安全上のご注意



ここに示した注意事項は、本製品を安全に正しくお使いいただき、ご自身や他の人々への危害や、財産への損害を未然に防止するためのものです。

注意事項を「警告」と「注意」に区別して明示していますので、お使いの際には、必ずお守りください。


 警告	この表示に従わずに、誤った扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示に従わずに、誤った扱いをすると、人が軽傷を負う可能性がある内容、または物的損害の発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例


次の記号は、注意（警告を含む）を促す内容であることをお知らせするものです。

	安全にかかわる注意情報を示しています。
	ヤケド注意 高温のスチームが噴出することがあります。（本体表示）

次の記号は、してはいけない内容であることをお知らせするものです。

	してはいけないことを示しています。
---	-------------------

次の記号は、実行しなければならない内容をお知らせするものです。

	実行しなければならないことを示しています。
---	-----------------------

一般的なご注意

警告

火災・爆発・ケガ・ヤケドの原因となります。



分解や改造をしないこと。
子供だけで使用しないこと。



子供が本製品で遊ばないようにすること。
付属品や交換用の部品はケルヒャー純正品を使用すること。
修理はケルヒャー ジャパン修理センターに依頼すること。
包装フィルムは子供の手の届かないところに保管すること。窒息する恐れがあります。

清掃対象についてのご注意

警告

火災・爆発・ケガ・ヤケドの原因となります。



スチームに手を近づけたり、人体または動植物に向けて使用しないこと。
アスベストなどの危険物を含む物に対して使用しないこと。
コンセントや電子機器、電気部品にスチームを直接噴射しないこと。


使用時のご注意

警告

火災・爆発・ケガ・ヤケドの原因となります。



目に見える異常や破損、故障がある場合や、本体を落下させた場合は使用しないこと。
火気や暖房器具のそば、爆発物や可燃性ガスの近くで使用しないこと。
高温・多湿の場所で使用しないこと。
濡れた浴室や水が入った浴槽・プールなどで使用しないこと。
雨天時に野外で使用したり、水を本体に直接かけたりしないこと。
溶剤（シンナーなど）、洗剤、柔軟剤、油（ガソリンなど）、酢、薬品など水道水以外のものをボイラーに入れて使用しないこと。
本体が熱いときは、安全バルブを開けたり、給水したりしないこと。

 安全バルブおよびアクセサリ接続部の O リングに、亀裂や割れがないことを確認すること。
使用する場所の換気を行うこと。
本製品から離れる際やお手入れ前には、電源を OFF にして電源プラグを抜くこと。

注意

本体の変形・清掃面の損傷・ショート・水漏れや、思わぬ事故・ケガの原因となります。



0℃以下の環境で使用しないこと。

本体に乗ったり、過度の衝撃を加えたりしないこと。

熱に弱い床材の上で使用しないこと。

スチームホースを無理に引っ張ったりねじったりしないこと。

転倒の恐れがある不安定な場所や、本体を倒した状態で使用しないこと。

ボイラーに水が無い状態で電源を ON にしないこと。



違和感や熱いと感じたら、直ちに使用を中止すること。スチームレバーを長時間握り続けて使用すると低温ヤケドを負う場合があります。

ガラス製品を清掃するときは、ひび割れの原因になるので以下のことに注意すること。

・1カ所に2秒以上留めてスチームを当てない。

・傷がある場合は清掃しない。

・外気温と室温の差が大きいときは、窓ガラスにノズルを近づけすぎない。

ワイヤー入りガラス、ペアガラス、厚板ガラスの清掃は特にご注意ください。ガラスの膨張率の違いにより割れる場合があります。

異常や故障が発生したとき

警告

発熱・発火・感電・ケガの原因となります。



以下のような場合は、直ちに使用を中止して電源プラグをコンセントから抜き、ケルヒャー ジャパンに修理を依頼すること。

修理部品は一切供給しておりません。個人で修理を行って発生した不具合・事故に関しては一切責任を負いません。

・電源コードを触ると動いたり停止したりする場合

・電源コードが傷ついたり、破れたりした場合

・スチームホースに異常（傷や折れ曲がりなど）がある場合

・安全ロックがかからない場合

・異音・異臭がした場合

・煙が出た場合

・本体が異常に熱い場合

・本体またはスチームホースが破損した場合

コンセント、電源プラグ、電源コードについての注意

警告

火災、感電、ショートの原因となります。



- ゆるみやガタつきのあるコンセントは使用しないこと。
- 電源プラグやコードが変形している場合は使用しないこと。
- 電源プラグやコードを傷つけたり、加工したりしないこと。
- 電源プラグやコードを無理に曲げたり、引っ張ったり、潰したりしないこと。
- 電源コードや延長コードを束ねたまま使用しないこと。
- 電源プラグに水をかけないこと。
- 濡れた手で電源プラグの抜き差しはしないこと。



- 交流 100 V、定格 15 A のコンセントを単独で使用するここと。
- 延長コードは、下記のすべての性能を満たしたものをを使用すること。
 - ・定格 15 A、1500 W 以上
 - ・コードの長さは最長 10 m
- 延長コードは単独で使用するここと。
- 延長コードに水がかからないようにすること。
- ドラム型延長コードを使用する場合はすべて引き出して使用するここと。
- ドラム型延長コードを使用する場合は、プラグ差し込み部の高さが地面から 6 cm 以上になるようにすること。
- 電源プラグは確実に差し込むここと。

保管場所のご注意

警告

火災、故障の原因となります。



- 屋外で保管しないここと。
- 下記の場所に保管しないここと。
 - ・火気、熱器具のそばなど高温な場所
 - ・直射日光（炎天下の車内など）の当たる場所
 - ・温度変化が激しい場所
 - ・水まわりなど湿度が高く、水がかかる恐れがある場所
 - ・ほこりが多い場所
 - ・落下の恐れがある高い場所

はじめてお使いになる前に

スチームクリーナーとは？

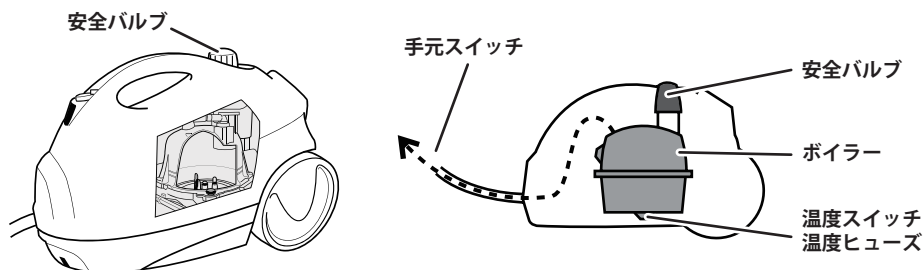
スチーム（蒸気）の温度と水分で汚れを浮かせるクリーナーです。

仕組みは圧力釜と似ています。水を入れ、密閉したボイラーで約 143℃まで熱し、スチーム（蒸気）をつくります。

約 100℃の高温スチームを吐出するので、除菌・消臭効果もあります。

スチームクリーナーの基本的なしくみ

SC 2 EasyFix W は、温度スイッチ、温度ヒューズ、安全バルブ、手元スイッチの 4 つの安全装置により、安心してご使用いただけます。



温度スイッチ

ボイラー内の温度が一定温度に達すると加熱を止め、温度が下がると再度加熱をします。これを繰り返すことにより、異常過熱を防ぎます。

温度ヒューズ

ボイラー内の水が無くなると、自動的に加熱を停止します。

安全バルブ

ボイラー内の圧力が許容範囲を超えたとき、安全弁（安全バルブ）を通して大気中に圧力を放出します。また、使用中は給水口を開けることができない設計です。

手元スイッチ

手元のスチームレバーを握っている間だけスチームを出します。安全ロック機能もあるので安心です。

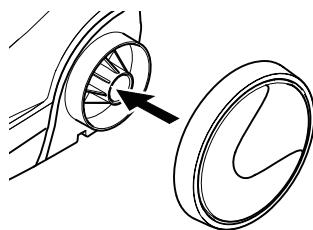
MEMO

- ・熱に弱い材質、壁紙、プラスチックなどは変形・はがれなどの恐れがあります。目立たないところで試してから使用してください。

本体を組み立てる

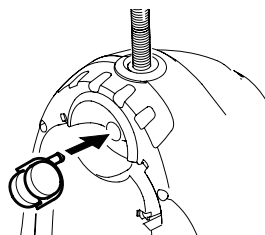
1 ホイールを本体に取り付ける

カチッと音がするまで差し込みます。
確実にロックされ、外れないことを確認します。



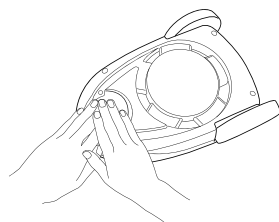
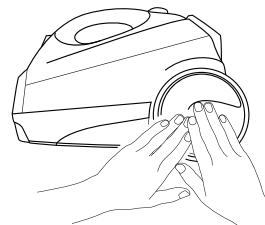
2 キャスターを本体に取り付ける

カチッと音がするまで差し込みます。
確実にロックされ、外れないことを確認します。





MEMO

- ホイールやキャスターが固い場合は、垂直に力を掛けられるように本体を置き、両手で力を入れて押し込みます。このとき、本体や床にキズがつかないようにタオルなどを敷いてください。
- 組み立て後は、ホイールとキャスターは取り外せません。



ボイラーに水を入れる

 警告	・溶剤（シンナーなど）、洗剤、柔軟剤、油（ガソリンなど）、酢、薬品など水道水以外のものをボイラーに入れて使用しないこと。
 注意	・水道水のみを使用し、井戸水や雨水、アルカリイオン水などは使用しないこと。

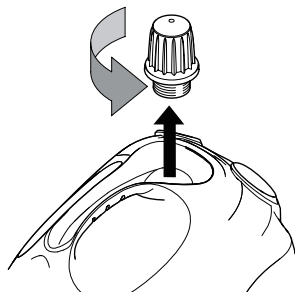
1 安全バルブを取り外す

以下のことを確認し、安全バルブを取り外します。

- ・電源スイッチがオフになっている
- ・電源プラグがコンセントに差し込まれていない
- ・本体が冷めている

MEMO

- ・長期間使用していなかったときは、使用前にボイラー内を水ですすいでください。

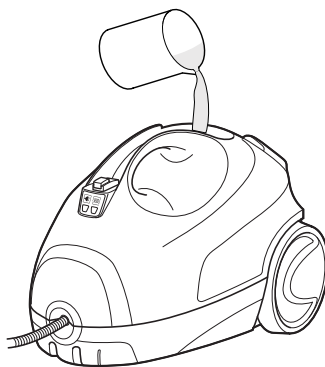


2 ボイラーに水を入れる

ボイラーに常温の水道水をゆっくりと注ぎます。水は入れ過ぎないようにしてください。入れ過ぎるとスチームを十分に発生させることができず、湯が出ることがあります。

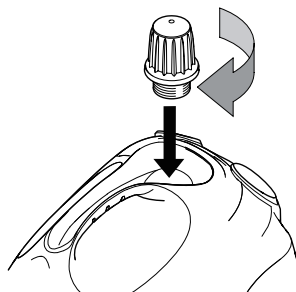
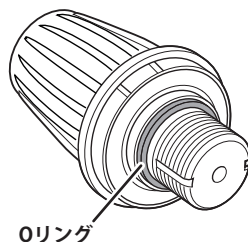
最小使用給水量：0.5 L

最大使用給水量：1.0 L



3 安全バルブを取り付ける

- 1 安全バルブのOリングに亀裂や割れなどの異常がないか確認します。
異常がある場合は、新品に交換します。
Oリングを取り外した場合は、元の位置に取り付けます。
- 2 安全バルブを本体に取り付け、しっかりと締めます。



MEMO

- 給水口の周りにこぼれた水は、タオルなどで拭き取ってください。こぼれた水が加熱中に蒸気となり、スチーム漏れと誤認する場合があります。
- ヒートアップ中およびボイラー内の温度・圧力が高い間は、安全バルブは空回りして開けることができません。


電源を入れる

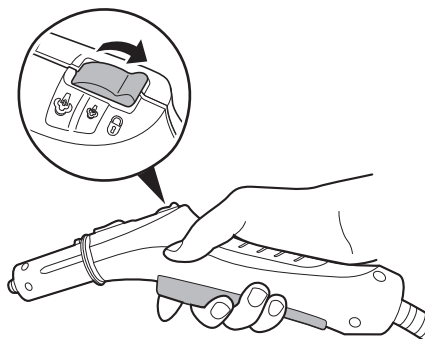


警告

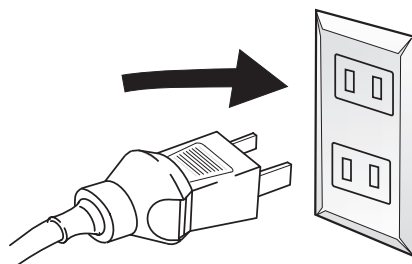
- ・タコ足配線はしないこと。
- ・家庭用 100 V のコンセントを単独で使用するこ
ト。ブレーカーが落ちることがあります。

1 安全ロックを確認する

- 1 スチームレバーロックがロック位置〔〕になっていることを確認します。
- 2 スチームレバーを握り、レバーが動かないことを確認します。



2 電源プラグをコンセントに差し込む



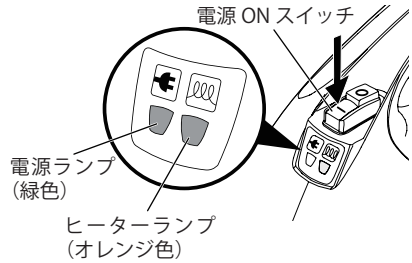
ヒートアップを行う

⚠ 注意

- ボイラーに水を入れてから電源を ON にすること。
- 使用中に安全バルブの上方で作業したり、のぞき込んだり触ったりしないこと。

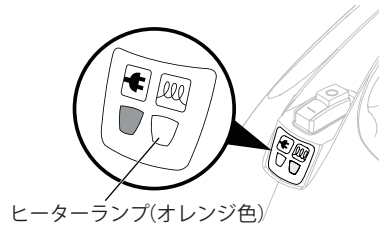
1 電源 ON スイッチを押して電源を ON にし、ヒートアップを開始する

電源 ON スイッチ〔1〕を押します。
電源ランプ（緑色）とヒーターランプ（オレンジ色）が点灯し、ヒートアップが開始されます。



2 準備完了

約 6 分後、ヒーターランプが消灯したら、使用準備完了です。
スチームを出すとボイラー内の温度が下がるため、点灯と消灯を繰り返します。



MEMO

- ヒートアップ終了までの時間は、水温と水量によって異なります。

清掃を開始する



注意

・吐出口付近の高温スチームには直接触れないように注意すること。
ヤケドを負う恐れがあります。

1 安全ロックを解除する

スチームレバーロックを前方にスライドさせ、安全ロックを解除します。
スチームレバーロックは、以下の3段階を選択できます。



スチーム強

スチームの噴出量は最大になります。



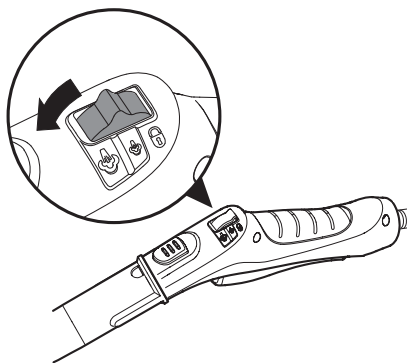
スチーム弱

スチームの噴出量が半分程度になります。



安全ロック

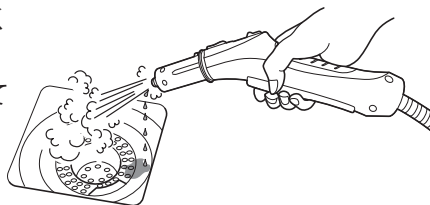
スチームレバーがロックされます。スチームは噴出しません。



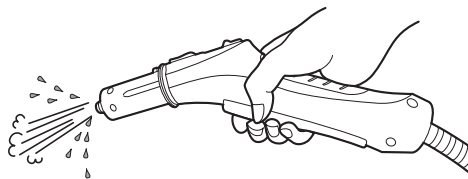
2 スチームレバーを握り、スチームを確認する

清掃前に、スチームの状態を確認してください。

安定しない場合は、排水口などに向けて数秒スチームを出し続けてください。



<使い始めの注意点>



使い始めや中断直後はお湯が出ます。清掃を始める前にお湯を排出し、スチームが出る状態になってからアクセサリーを取り付けてください。清掃前にクロスやカバーが水分を含むことを防ぐことができます。

≫ 17 ページ「各種アクセサリーの取り付け方」

アクセサリーを取り付ける


各種アクセサリーの取り付け方

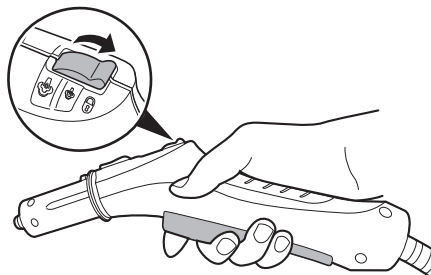
⚠ 注意

- アクセサリーを着脱するときは安全ロックをかけ、アクセサリーが冷えてから行うこと。特に清掃後にアクセサリーやカバー・クロスを取り外すときは、熱湯が垂れることがあるため、注意すること。ヤケドを負う恐れがあります。
- アクセサリーは確実に取り付けること。

各種アクセサリーは、ワンタッチで着脱できます。

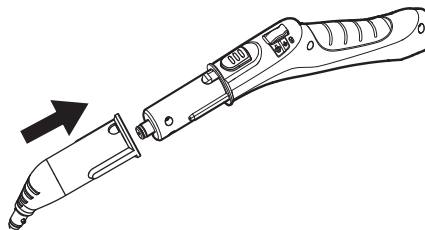
1 安全ロックをかける

スチームレバーロックをロック位置〔〕にスライドします。

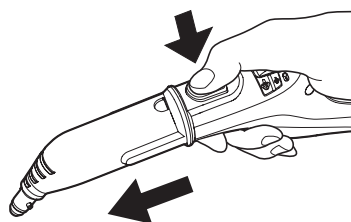


2 アクセサリーをスチームガンに取り付ける

カチッと音がするまで差し込みます。確実にロックされ、抜けないことを確認します。



取り外すときは、アクセサリーロックボタンを押しながら引き抜きます。

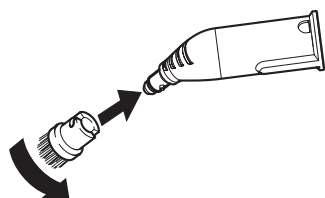


ノズルヘッドとブラシの準備

1 ブラシを取り付ける

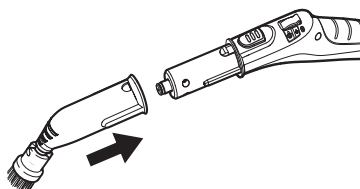
ノズルヘッド先端の突起にブラシ根元の溝を合わせて挿入し、イラストの矢印の方向に回して固定します。

取り外すときは、ブラシをイラストの矢印と反対の方向に回して引き抜きます。



2 ノズルヘッドをスチームガンに取り付ける

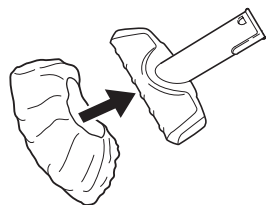
カチッと音がするまで差し込みます。確実にロックされ、抜けないことを確認します。



ハンドブラシとマイクロファイバーカバーの準備

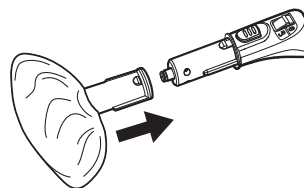
1 マイクロファイバーカバーを取り付ける

カバーをハンドブラシに被せます。



2 ハンドブラシをスチームガンに取り付ける

カチッと音がするまで差し込みます。確実にロックされ、抜けないことを確認します。



MEMO

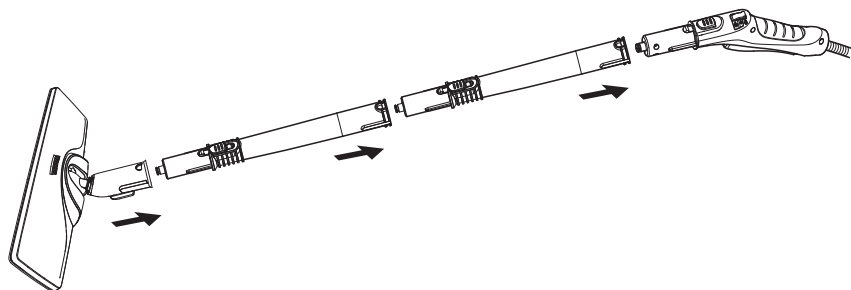
- 清掃を始める前に、スチームの噴出状態を確認してください。

» 16 ページ「<使い始めの注意点>」

フロアノズルの準備

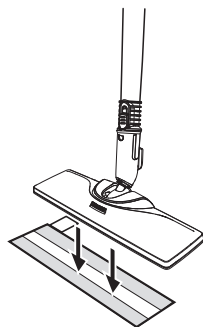
1 パイプ、フロアノズルを接続する

カチッと音がするまで差し込みます。
確実にロックされ、抜けないことを確認します。



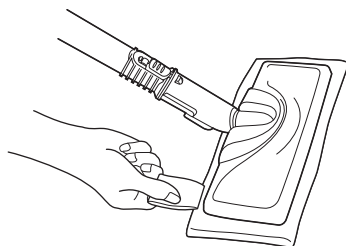
2 マイクロファイバークロスを取り付ける

クロス（面ファスナー側）を上に向けて置き、そこにフロアノズルを押し当てます。





取り外すときは、タグを持って下に引っ張りフロアノズルから剥がします。

熱いクロスを取り付けたまま床に放置すると、ワックスが変質することがあるので注意してください。



エリアごとの掃除方法

 警告	• オープンや冷蔵庫などの内側を清掃するときは、機器の電源をOFFにし、直接スチームを当てずにハンドブラシカバーなどを使用すること。
 注意	• 事前に目立たない場所でテスト清掃を行い、破損する恐れがないことを確認すること。熱に弱い材質、壁紙、プラスチックなどは変形・はがれなどの恐れがあります。 • 同じ場所でスチームを出し続けたり、クロスが熱い状態で床に放置したりしないこと。熱でワックスが変質して白化する場合があります。 • トップコートや保護コーティングされていない床材、寄木張りフローリングには使用しないこと。

本製品に同梱の『スチームクリーナー お掃除アドバイスブック』も併せてご覧ください。
お掃除の仕方は、右記のQRコードより動画でもご覧いただけます。



▲参考動画は
こちら

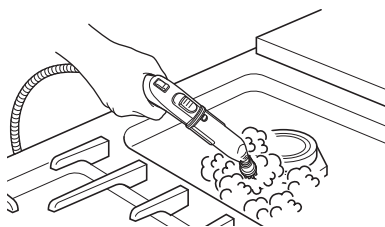
MEMO

- 清掃する場所は、事前に掃除機などでホコリやゴミを取り除いてください。
- 畳や布製品、車のシートを清掃したあとは、しっかりと乾かしてください。
- 使用中はスチームホースが熱くなることがあります。スチームホースが直接素肌に触れないように注意してください。
- タイル目地に入り込んだ黒カビの根の色素や、素材にしみ込んで変色した汚れは落ちません。

ガステーブル・ガスコンロ

ノズルヘッド+ブラシ

ノズルヘッドにブラシを取り付けてこすります。
油汚れはブラシにタオルなどを巻き付けて掃除を
すると便利です。



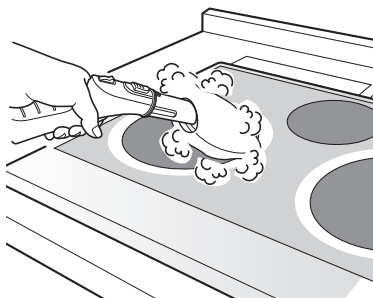
MEMO

- コゲや汚れがこびりついている場合、完全に汚れ
が取り除けないことがあります。

IH クッキングヒーター

ハンドブラシ+マイクロファイバーカバー

IH クッキングヒーターに当てて、ゆっくりと動か
します。

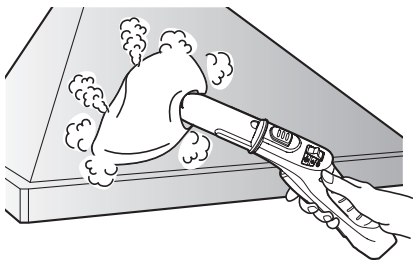


換気扇フード

ハンドブラシ+マイクロファイバーカバー

ゆっくりと前後に動かし、カバーで汚れを拭き
取りながら清掃します。

油汚れが浮いてくると、ハンドブラシがスムー
ズに動かせるようになります。



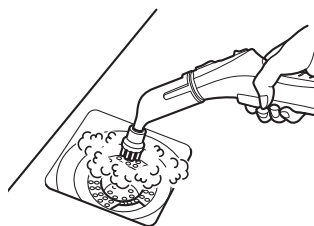
浴室・洗面所

ノズルヘッド+ブラシ

ノズルヘッドにブラシをセットして、こすります。

MEMO

- 何層にも重なっている汚れは、洗剤などが必要になる場合もあります。



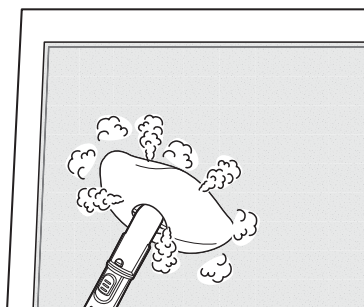
網戸

ハンドブラシ+マイクロファイバーカバー

サツとなでるように清掃します。

MEMO

- 同じところにスチームを2秒以上集中させたり、繰り返し当てないでください。網戸の素材を痛めることがあります。

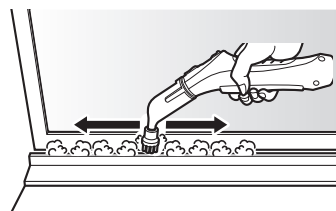


サッシレール

ノズルヘッド+ブラシ

ブラシでこすり、浮いた汚れは拭き取ります。

細い溝の汚れは、ノズルヘッド単体でスチームを当てて吹き飛ばします。



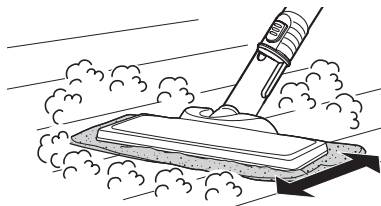
フローリング・畳

フロアノズル+マイクロファイバークロス

ゆっくりと前後に動かすと、床の水分が蒸発し乾きが早くなります。

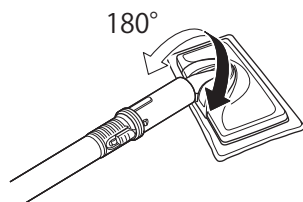
クロスが水分を多く含んだら交換してください。

熱いクロスを着着したままフローリング床に放置しないでください。ワックスが変質して白くなることがあります。



MEMO

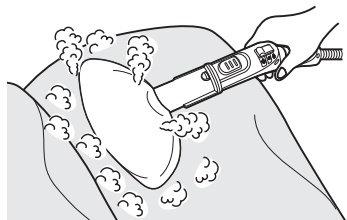
- 清掃時はスリッパや靴下を履いてください。
- フロアノズルは左右に 180° 動きます。パイプをひねるように回し入れると、家具下の狭い空間の清掃が可能です。まっすぐのまま無理に本体を下げると、家具やノズルが破損することがあります。



ソファ・車のシート（布製）

ハンドブラシ+マイクロファイバークバー

ゆっくりと前後に動かします。

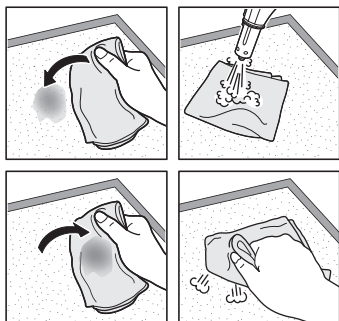


布製ソファやカーペットのシミは、以下の手順を数回繰り返します。



- 1 シミや汚れの上にタオルをかぶせます。
- 2 タオルの上からスチームを数回当て、浮かせた汚れをタオルに移します。
あるいはブラシで直接軽くこすり、乾いたタオルでたたいて水分と汚れを取り除きます。

※ 1カ所に長くスチームを当てないでください。カーペットだけでなくその下の素材（床など）も傷めることがあります。

※ デリケートな素材は強くこすらないでください。

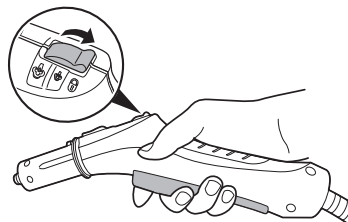


清掃を中断、終了する

 警告	・スイッチを入れたまま電源プラグを抜かないこと。
 注意	・長期間（3ヶ月以上）使用しないときは、ボイラー内の水を排水して保管すること。 ・安全バルブは軽く締めた状態で保管すること。

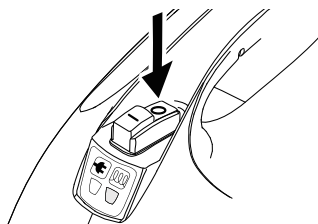
1 安全ロックをかける

スチームレバーロックをロック位置 [🔒] にスライドします。



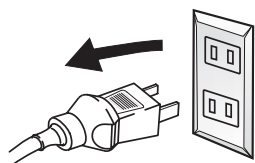
2 電源 OFF スイッチを押して電源を切る

本体の電源 OFF スイッチ [O] を押します。電源ランプ（緑色）が消灯したことを確認し、電源プラグをコンセントから抜きます。



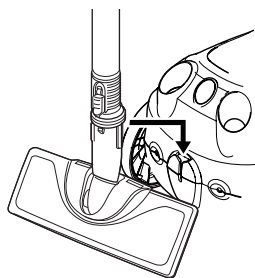
3 電源プラグを抜く

電源プラグをコンセントから抜きます。



MEMO

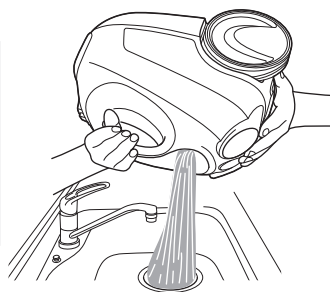
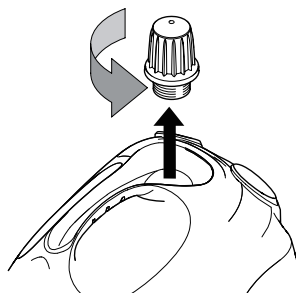
- ・作業を中断する場合、フロアノズルを本体背面のホルダーに差し込んでおくことができます。
- ・約1分間以上中断した後に作業を再開する場合は、ホース内の蒸気が冷えて湯が溜まっています。排水口などに向けてスチームレバーを握り、ホース内の湯を排出してください。



4 本体を冷ました後、ボイラーに残った水を捨てる

本体および安全バルブが人肌程度の温度以下に冷めたら、安全バルブを取り外します。

本体を逆さまにし、ボイラー内に残った水を捨てます。



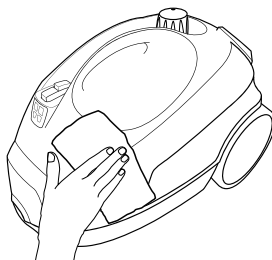
MEMO

- ボイラー内の温度・圧力が高い間は、安全バルブは空回りして開けることができません。
- ボイラーが人肌程度まで自然冷却されるには1～4時間程度かかります。

5 本体のお手入れを行う

タオルなどの柔らかい布をぬるま湯か中性洗剤に浸し、固く絞って本体の汚れや水滴を拭き取ります。

使用したカバーやクロスは、繰り返し洗って使用できます。中性洗剤で洗って乾燥させてください。



MEMO

- マイクロファイバーカバーやマイクロファイバークロスは洗濯機で洗うことができます。
- 柔軟剤は使用しないでください。
- 乾燥機で乾かささないでください。
- 濡れているクロスを取り外さずに放置すると、カビが発生する原因となります。



6 収納する

» 29 ページ「保管」

ボイラーのお手入れ

ボイラー内にスケール（水あか）が付着するのを予防するため、定期的なすすぎと洗浄を行ってください。使用を重ねてボイラー内にスケール（水あか）が付着してくると、温度が上がりにくくなります。また、故障の原因にもなります。

水ですすぐ（お手入れ目安：使用 10 回ごと）

 警告	・本体が熱いときや本体の使用中は、安全バルブを開けないこと。
 注意	・本体が完全に冷めてから行うこと。 ・本体を振るときに落とさないよう、しっかりと保持すること。

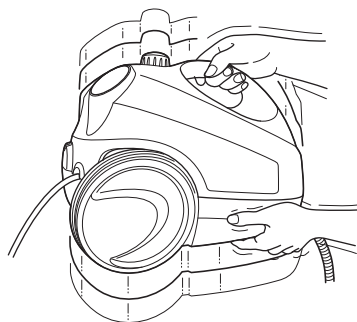
1 本体が冷めるまで待ち、残っている水を捨てる

電源を OFF にして電源プラグをコンセントから抜き、本体が冷めるまで待ちます。安全バルブを取り外し、ボイラー内に残っている水を捨てます。

2 ボイラーに水を入れ、よく振る

ボイラーに水を入れ、安全バルブを取り付けます。

片手でハンドルを握り、もう片方の手で本体下側をしっかりと持ち、上下左右によく振ります。



3 ボイラー内の水を捨てる

安全バルブを取り外し、ボイラー内の水を捨てます。

4 手順 2-3 を 3 回繰り返す

ボイラー洗浄剤を使用して洗浄する (お手入れ目安：使用 50 回ごと)

洗浄前に、ボイラー洗浄剤のパッケージに記載されている使用方法と使用上の注意をよく読んでください。

⚠ 注意

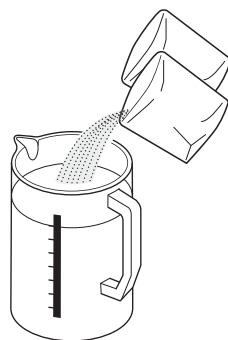
- 本体が完全に冷めてから行うこと。
- 安全バルブは取り外した状態で行うこと。
- ボイラー洗浄剤を入れた状態で加熱しないこと。
- 洗浄終了後は、洗浄剤が残らないよう十分にすすぐこと。

1 ボイラー内の水を捨てる

安全バルブを取り外し、ボイラー内に残っている水道水を捨てます。

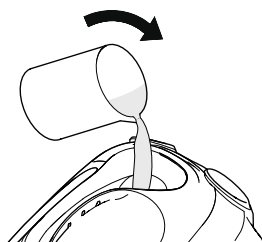
2 ボイラー洗浄液を準備する

容器に水または 60℃以下のぬるま湯 1L を用意して、ボイラー洗浄剤 2 包を入れてよく溶かします。



3 ボイラーに洗浄液を注ぎ、約 8 時間放置する

安全バルブを取り外し、作った洗浄液をすべてボイラーに注ぎます。そのまま約 8 時間放置します。このとき、安全バルブは取り付けないでください。



4 洗浄液を排出し、ボイラー内をよくすすぐ

8 時間後、洗浄液を排出し、ボイラー内を水道水で 3 回以上すすいでください。

5 安全バルブを軽く締める

MEMO

- 安全バルブは軽く締めた状態で保管してください。きつく締めるとボイラー内部の残圧によって、次回使用するとき安全バルブが開かなくなることがあります。



警告

- Oリングが装着されていない、もしくは損傷している場合には使用しないこと。
- 電源プラグのホコリなどを定期的に取り除くこと。

使用前点検

使用前に、安全バルブと各アクセサリーのOリングを点検してください。Oリングに亀裂やひび割れ、脱落などが認められる場合は、新品のOリングに交換してください。

安全バルブ

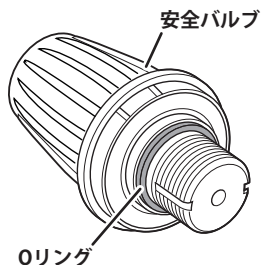
安全バルブおよびOリングは、定期的な交換が必要です。

交換時期

安全バルブOリング：約200作業時間ごと

* 作業時間とは、加熱または保温状態の累積時間です。

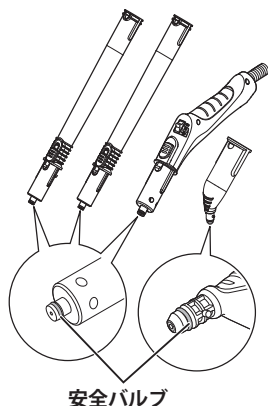
交換時期に到達していなくても、損傷がある場合は新品に交換してください。



各アクセサリー

接続部分のOリングを確認してください。

亀裂やひび割れ、脱落などが認められる場合は、新品に交換してください。



定期点検

末永く安全にお使いいただくため、有償の定期点検をお勧めします。累計作業時間が500時間毎に、ケルヒャー ジャパン修理センターで有償点検を受けてください。

点検を受けずにそのまま使用を続けた場合、加熱不良、過熱、スチーム漏れ、スチーム吐出不良などのさまざまな不具合が生じる可能性があります。

交換部品のお求めや有償定期点検のご相談は、販売店またはお客様専用ダイヤルまでお問い合わせください。

保管

⚠ 注意

- ボイラーの水を捨て、安全バルブをゆるく締めた状態で保管すること。固く締めた場合、ボイラーの内と外で圧力差が生じて安全バルブが固着し、次回使用する際に安全バルブが開かなくなることがあります。
- 凍結しない場所に保管すること。

本機を長期間使用しない場合は、以下のように収納します。

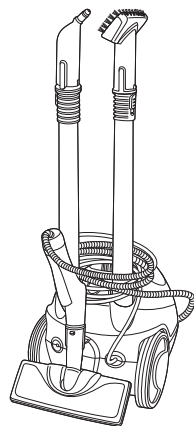
1 ボイラーのすすぎを行う » 26 ページ

2 アクセサリー類を収納する

- ① スチームガンにフロアノズルを取り付けます。
- ② 2本のパイプにノズルヘッドとハンドブラシを取り付けます。
- ③ ブラシホルダーにブラシを取り付けます。

3 パイプをパイプホルダーに差し込み、スチームホースと電源コードをパイプに巻き付ける

4 フロアノズルをフロアノズルホルダーに差し込む



困ったときは

故障かな？と思ったら以下のことをお確かめください。


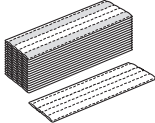
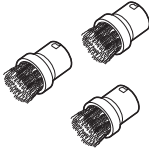

それでも解決しない場合は、お客様専用ダイヤル（0120-60-3140）までお問い合わせください。

このようなとき	考えられる原因	対処方法
安全バルブが外れない・空回りする	本体が十分に冷めていない	▶ 本体を1～4時間程度冷まし、それでも外れない場合は、一日おいてから取り外してください。
	ボイラーに圧が残っている	▶ スチームレバーを握り、ボイラー内の残圧を下げてください。
	安全バルブがきつく閉まっている	▶ 販売店またはお客様専用ダイヤルまでお問い合わせください。
スチームが出ない	電源プラグがコンセントに差し込まれていない	▶ 電源プラグをコンセントに差し込んでください。
	電源がONになっていない	▶ 電源ONスイッチを押し、電源ランプ（緑色）の点灯を確認してください。
	水が不足している	▶ 本体が人肌に冷めるのを待って、給水を行ってください。
	安全ロックがかかっている	▶ スチームレバーの安全ロックを解除してください。
スチームが水っぽお湯になる	作業開始直後や中断から再開直後で、スチームホースに湯がたまっている	▶ スチームホース内の湯を排水口などに向けて排出してください。
	規定量（1.0L）以上にボイラーに給水している	▶ 本体が冷めるのを待って安全バルブを開け、規定量以下まで水を捨ててください。
安全バルブからスチームが漏れる	安全バルブが閉まっていない	▶ 電源OFFスイッチを押し、本体が冷めるのを待って安全バルブを開てください。
	安全バルブのOリングが損傷している	▶ 電源プラグを抜き、本体が冷めるのを待って安全バルブを点検してください。Oリングが損傷している場合は交換してください。
	水を入れすぎている	▶ 本体が冷めるのを待って安全バルブを開け、規定量以下まで水を捨ててください。

このようなとき	考えられる原因	対処方法
スチームが弱くなる	連続使用でボイラー温度が低下している	▶ 1～2分作業を中断し、再度スチームを出してください。
スチームレバーが握れない	安全ロックがかかっている	▶ スチームレバーの安全ロックを解除してください。
本体下部より水漏れする	ボイラーが破損している可能性あり	▶ 使用をただちに中止し、販売店またはお客様専用ダイヤルまでお問い合わせください。
お知らせランプが点灯しない	電源プラグがコンセントに差し込まれていない	▶ 電源プラグをコンセントに差し込んでください。
	本体のセンサーが作動している	▶ 販売店またはお客様専用ダイヤルまでお問い合わせください。
ノズルなどの接続が固い	接続部分のOリングが硬化、または損傷している	▶ 接続が固い場合は水や少量のハンドクリームなどをつけるとスムーズに接続できます。硬化または損傷している場合は交換してください。

オプションアクセサリ一覧

仕様変更などにより製品の形状が図と一致しない場合があります。
 注文番号は予告なく変更になる場合があります。

 <p> イーザーフィックス用 マイクロファイバークロス 2枚入りY 注文番号：2.863-349.0 JANコード： 4066529042071 </p>	 <p> ハンドブラシ用マイクロ ファイバーカー 2枚入りY 注文番号：2.863-344.0 JANコード： 4066529041647 </p>
 <p> イーザーフィックス用 使い捨てクロス 15枚入り 注文番号：2.863-300.0 JANコード： 4054278516356 玄関など汚れがひどい場 所の清掃に。汚れたクロ スを洗う必要がなく、衛 生的で手軽です。 </p>	 <p> すきまブラシ 4個入り 注文番号：2.863-324.0 JANコード： 4054278907437 サッシレールなど、狭いす きまの汚れを落とすこと ができます。 </p>
 <p> ブラシ 4個組 黒 2個 黄 2個 注文番号：2.863-282.0 JANコード： 4054278420684 </p>	 <p> ブラシ 3個組 (真ちゅう製) 注文番号：2.863-061.0 JANコード： 4002667015577 </p>
 <p> スポットノズルセット 注文番号：2.863-263.0 JANコード： 4054278315911 </p>	 <p> スチームターボブラシ 注文番号：2.863-159.0 JANコード： 4039784060142 </p>
 <p> ボイラー洗浄剤パウダー タイプ 3 包入り 注文番号：6.295-982.0 JANコード： 4054278283272 </p>	

補修部品

仕様変更などにより製品の形状が図と一致しない場合があります。
 注文番号は予告なく変更になる場合があります。

 <p>イージーフィックスフロア ノズル 注文番号：4.130-035.0 JAN コード： 4054278506227</p>	 <p>ハンドブラシ 注文番号：2.884-280.0 JAN コード： 4039784048065</p>
 <p>ノズルヘッド 注文番号：4.130-021.0 JAN コード： 4054278135045</p>	 <p>パイプ ※ 1本での注文番号です。 注文番号：4.127-027.3 JAN コード： 4054278887753</p>
 <p>パイプ、スチームガン用 Oリング 注文番号：6.362-922.0 JAN コード： 4002667185829</p>	 <p>ノズルヘッド用 Oリング 注文番号：6.362-186.0 JAN コード： 4002667181494</p>
 <p>安全バルブ 注文番号：4.590-105.0 JAN コード： 4039784420540</p>	 <p>安全バルブ用 Oリング 注文番号：6.363-468.0 JAN コード： 4039784391277</p>
 <p>ホイール 2個 注文番号：4.515-307.0 JAN コード： 4039784397545</p>	 <p>キャスター 注文番号：6.435-857.0 JAN コード： 4039784587045</p>

その他

保証書

お買い上げいただいたケルヒャー製品に万一不具合が生じた場合には、この保証規定に従い保証いたします。この保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

■ 保証の内容

お買い上げいただきました製品を構成する純正部品の材料または製造上の不具合が起きた場合、ケルヒャー ジャパン株式会社修理センターで無償修理をいたします（この無償修理を保証修理といいます）。保証修理は部品の交換あるいは補修により行います。また、取り外した不具合部品は当社所有といたします。保証修理を受けられる期間は新品を購入した日から1年間とします。

■ 保証できない事項

● 修理の際の輸送費用

● 次に示すものに起因すると判定される故障は、保証修理いたしません。

- ・取扱説明書の指示に反する使用
- ・保守整備の不備または間違い
- ・当社が提示している仕様の限界を超える使用（規定以上の長さの延長コードを使用した場合の電圧降下や、業務などで定格使用時間を著しく超えた連続使用など）
- ・当社が認めていない改造
- ・純正部品および指定する油脂類以外の使用
- ・ご使用者の不注意による故障（凍結、落下などによる損傷・破損など）
- ・業務・事業・店舗用、商用、営利目的等の一般家庭用以外の目的での使用

● 次に示すものは保証修理いたしません。

- ・経年変化や通常損耗により発生した不具合
- ・プラスチックカバーなどの自然退色、ホースのひび割れ、Oリングの劣化、部材劣化に伴う性能低下など
- ・使用に際し品質、機能上影響のない感覚的現象（音、振動など）
- ・台風、水害、雪害などの天災による不具合
- ・薬品、塩害などに起因する不具合

● 次に示すものの費用は負担いたしません。

- ・消耗品（ノズル、安全バルブ、Oリング、パッキン、バルブ、ホース、ブラシ、カバー、パット、クロス、およびこれらに類する消耗品）
- ・ケルヒャー ジャパン以外での修理
- ・点検、清掃、調整、及び定期点検整備
- ・この保証書に示す条件以外の補修費用など
- ・本製品を使用できなかったことによる不便さ及び損失など（休業損失、商業損失など）
- ・清掃対象物に損傷、破損、変色などが生じた場合
- ・正しく操作せずにケガを負った場合

● 出張修理はいたしません。

修理はケルヒャー ジャパンへご依頼ください。

■ 保証の適用

この保証は日本国内で使用される当社製品のみにも適用されます。

海外へ持ち出す場合は、その時点で保証が抹消されます。

■ 保証修理の受け方

保証修理をお受けになる場合は、下記保証書の各項目にご記入いただき、お買い上げいただいた際のレシート／納品書を添付の上、保証修理をお申し付けください。
製造番号は、製品の底面に貼られている銀色のラベルに記載されています。

■ 保証修理の申し込み方法

ご購入の際に受領されたレシートあるいは納品書と下記保証書をご用意の上、下記 URL、または当社ホームページ中段のリンク『家庭用 修理・アフターサービス』⇒『修理申し込み方法』にアクセスしていただき、製品の修理をお申込みください。

[家庭用製品] 修理申し込み方法

www.kaercher.com/jp/service/support_hg/repair_application.html

ご不明な点がございましたらお客様専用ダイヤルまでご連絡ください。

お客様にご記入いただいた修理申込書の内容は、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。



製品名	SC 2 EasyFix W
保証期間	1 年
製造番号【シリアル No.】	
お買い上げ日	
お客様情報	お名前： ご住所： 電話番号：
販売店情報	店名： 住所： 電話番号：
故障状況	

ケルヒャー ジャパン株式会社 www.kaercher.com/jp/
本社住所：〒 222-0032 神奈川県横浜市港北区大豆戸町 639 番 3

製品を長くご愛用いただくために、ユーザー登録をさせていただいたお客様にサポート情報やキャンペーン情報をメールでお送りしています。

下記 URL、または当社ホームページ中段のリンク『家庭用製品 ユーザー登録』⇒『ユーザー登録（1年保証）はこちら』にアクセスいただき、ご登録ください。

ケルヒャー家庭用製品ユーザー登録

www.kaercher.com/jp/service/support_hg/warranty.html



｜製品に関するお問い合わせ

お客様専用ダイヤル

0120-60-3140

045-394-3550（携帯電話から）

受付時間：9:00～17:00（年末年始、当社休日を除く）

｜修理品送り先

〒284-0038

千葉県四街道市たかおの杜10番1号

DPL千葉四街道・3階

ケルヒージャパンリペアセンター 宛

0120-60-3140

045-394-3550（携帯電話から）

修理品をお送りいただく際には、ご購入日がわかるもの（保証期間内に限り）と34-35ページの保証書に故障状況をご記入の上、必ず同梱してください。

1. 保証書が34-35ページに添付されています。レシート、領収書、販売証明書、納品書などのご購入日がわかるものと一緒に大切に保管してください。
2. 保証書の保証内容、保証規定をよくお読みください。
3. 保証期間は保証書に記載されています。
4. 保証期間終了後の修理につきましては、右記のQRコードより、当社ホームページの「家庭用製品 修理・アフターサービス」にてご確認ください。もしくは、上記お客様専用ダイヤルまでお問い合わせください。

